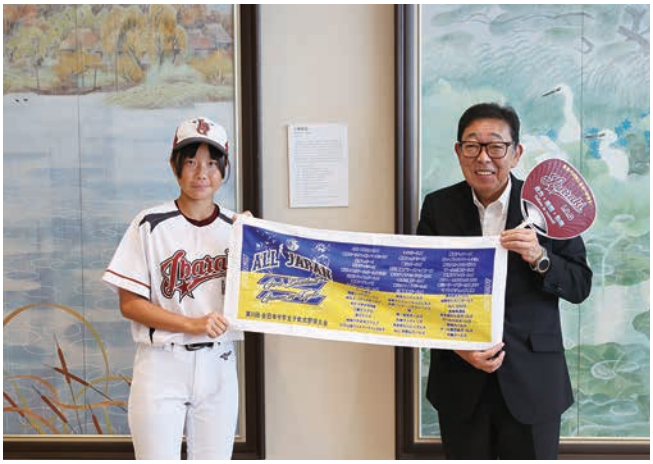
※記事中の肩書等は、取材当時のものです。

続ける誇り、広がる笑顔
クリーンロード行里川が国土交通大臣表彰を受賞

地区の清掃・美化活動に長年尽力する「クリーンロード行里川」が国土交通大臣表彰を受賞し、8月26日(水)に市長を表敬訪問しました。平成19年の活動開始以来、行里川地区の住民団体が一丸となり、道路沿いのごみ拾いや草刈りなどを地道に継続し、環境美化に貢献してきました。市役所を訪れた団体に対し、市長から「これは本当にすごいこと」と温かい激励の言葉が贈られました。今回の受賞は、日々のたゆまぬ努力と地域貢献が結実した栄誉です。クリーンロード行里川の皆さま、本当におめでとうございます。



▲【写真左から】高栖副代表、髙橋代表、戸井田市長、高栖区長。



▲【写真左から】茨城スーパーガールズ 石川友彩選手、戸井田市長。

「全国は楽しかった！」
屈託のない笑顔と強い意志で、次なるステージへ

石岡中学校2年生の石川友彩(ゆい)選手が、8月20日～26日に京都府で開催された「第11回全日本中学女子軟式野球大会」に出場し、見事に全国ベスト16という素晴らしい成績を収めました。石川選手は、県内唯一の女子野球チームである「茨城スーパーガールズ」に所属し、主に投手としてチームの勝利に貢献しています。今大会を振り返り「全国大会はとても楽しかった。今後はチームの主軸となって引っ張っていきたい。また、もっと女子野球の人口を増やしていきたい」と、今後の目標や女子野球への熱い思いを力強く語ってくれました。

絶やさぬ活動が未来の命を救う
石岡87ロータリークラブが厚生労働大臣から感謝状

石岡87ロータリークラブが、41年間にわたり継続してきた献血活動の功績が称えられ、厚生労働大臣から感謝状を受賞しました。同団体は、石岡市献血推進協議会委員としても長年にわたり尽力されるとともに、市民の皆さまへ向けて広く献血の重要性を呼びかけながら、熱意を持って献血事業を実施してこられました。地道な活動を粘り強く重ねてきた歩みが、栄えある受賞という素晴らしい成果へとつながりました。地域社会への多大なる貢献に深く敬意を表するとともに、今後の活躍をお祈りします。



▲【写真左から】市子育て健康部 吉澤部長、石岡87ロータリークラブ 飯塚会長。

※記事中の肩書等は、取材当時のものです。

地域における食育の推進
ヘルスメイトが市内中学校の部活動で食育教室を実施

ヘルスメイト（食生活改善推進員）が市内中学校の部活動を対象に調理実習と食育講話を実施しました。みんなで協力し、野菜たっぷりの夏野菜カレーを作りました。出来上がった料理を試食した際「家で作ってみたい」や「おいしかった」などの声が多く聞かれました。今後も地域の活動を通し、食育推進活動を実施していきたいと思います。

※ヘルスメイトは「私達の健康は、私達の手で」をスローガンに、食を通じた健康づくりを支援するボランティア団体です。



▲ヘルスメイトから指導を受けながら、野菜をむいたり切ったりしました。



▲最終日の成果発表会ではカルチャーをテーマとした「石岡のおまつりのゴミ問題を解決し隊」の皆さんが、見事投票１位を獲得しました。

高校生のアイデアでまちなかのにぎわいへ
高大連携ワークショップを開催

８月 18 日（火）、19 日（水）に地域の将来を担う高校生の柔軟な発想をまちづくりに活かすことを目的に、麗澤大学、筑波大学の協力のもと、高大連携ワークショップを開催しました。石岡第一、第二、商業高等学校が参加し、大学生によるサポートや市職員からのヒアリングを取り入れ、６つのテーマ（モビリティ、空き家・空き店舗、景観、地産地消、カルチャー、歴史）から、まちなかの活性化についてグループワークを行いました。最終日には市長をはじめ関係者の前で、高校生たちが自分たちのアイデアを堂々と発表しました。

新時代の格闘技
ヴァーチャル・テコンドー日本代表としてアジア大会へ

第 20 回アジア競技大会（愛知・名古屋 2026）に新種目であるヴァーチャル・テコンドー日本代表として出場された、鈴木颯（はやて）選手（テコンドー石岡道場出身）が８月 20 日（木）表敬訪問されました。

鈴木選手は「2025 年ヴァーチャル･テコンドージャパン FINAL」の優勝者で、現在は新宿と石岡を行き来しながら練習と生活を両立しています。市長はアジア大会でのさらなる活躍を期待し、応援幕に手書きで激励の言葉を寄せました。



▲【写真左から】ヴァーチャル・テコンドー日本代表 鈴木颯選手と戸井田市長。ヴァーチャル・テコンドーとは VR ゴーグルを装着して仮想空間で戦う“接触なし”のデジタル格闘技です。